

## 感染症に関するアンケート

### 実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
感染症対策課	2022年11月02日から 2022年11月18日まで	1385	902	65%

今回は、感染症対策課からのアンケートです。

県では、三重県感染症対策条例（令和2年12月24日施行）を制定するなど、県内における感染症の発生予防及びまん延防止を図り、県民の皆さんが安心して暮らせる社会の実現をめざしています。

今後の取組の参考とするため、県民の皆さんの感染症に関する知識や、求める情報等についてアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。

《三重県感染症対策条例》

<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0014900532.htm>

### ■ Q1 感染症について

感染症についての次の3つの記述のうち、知っているものをすべて選んでください。

合計	902	
感染症とは、細菌、真菌、ウイルス、寄生虫などの病原体が、空気、食べ物、水、動物、昆虫、人などを介して人に感染し、様々な症状を引き起こす疾患のことをいう	834	92.5%
感染経路には、接触感染、経口感染、飛沫感染、空気感染などがある	871	96.6%
感染症には、人から人にはうつらない病気も含まれる	513	56.9%
すべて知らない	13	1.4%

### ■ Q2 感染症を知る機会について

あなたは、感染症についてどこかで学んだり、聞いたりしたことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	902	
テレビ	787	87.3%
新聞	449	49.8%
ラジオ	149	16.5%
インターネット、SNS	645	71.5%
県や市町のパンフレットやホームページなど	255	28.3%
駅や商業施設などでの街頭啓発	59	6.5%

家庭	163	18.1%
地域（自治会など）	55	6.1%
学校	147	16.3%
職場	317	35.1%
その他	25	2.8%
学んだり、聞いたりしたことはない	11	1.2%

### ■ Q3 感染症に関する知識について（1: HIV/エイズ）

HIV/エイズについての次の5つの記述のうち、知っているものをすべて選んでください。

合計	902	
HIVとは「ヒト免疫不全ウイルス」のことで、エイズ（AIDS）とはHIVに感染することにより体を病気から守る免疫力が低下する「後天性免疫不全症候群」という病気のことをいう	696	77.2%
HIVの感染力は非常に弱く、家庭や学校、職場での日常生活では感染しない	628	69.6%
HIVに感染しても、エイズを発症するまでは自覚症状がない場合が多い	653	72.4%
HIVに感染しても、治療を早く始めれば、エイズの発症を抑えられる可能性が高くなる	494	54.8%
保健所で匿名、無料で検査を受けることができる	423	46.9%
すべて知らない	45	5.0%

### ■ Q4 感染症に関する知識について（2: ハンセン病）

ハンセン病についての次の5つの記述のうち、知っているものをすべて選んでください。

合計	902	
ハンセン病の病原体である「らい菌」は、感染力が非常に弱くうつりにくい	339	37.6%
日本の現在の衛生状態、医療状況、生活環境においては、たとえ感染しても発病することはほとんどない	276	30.6%
早期に発見し、投薬による適切な治療を行えば、顔や手足に後遺症を残すことなく完治する	263	29.2%
平成8年に患者の隔離政策が廃止されてから25年以上が経過した現在も、依然としてハンセン病療養所の入所者や社会復帰者、その家族に対する偏見や差別が残っている	487	54.0%

平成13年に隔離政策が違憲であったとする判決が下されて以降、国はハンセン病に対する偏見や差別の解消と患者・元患者やその家族の名誉回復に取り組んでいる	393	43.6%
すべて知らない	290	32.2%

## ■ Q5 感染症に関する差別・偏見について 1

三重県感染症対策条例では、第10条で患者やその家族、医療従事者、エッセンシャルワーカー（※1）等への差別の禁止を定めています。

あなたは、感染症に関する差別・偏見について、実際に受けた、または見聞きしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※1「エッセンシャルワーカー」とは、県民の生活及び経済の安定に寄与する業務に従事する人のことをいいます。（例：生活必需品の販売・物流、公共交通機関、介護・教育・保育、郵便・宅配など）

※2 以下の選択肢の中にある「人づてに見聞きした」場合には、本人以外から間接的に聞いた場合のほかに、マスメディア、インターネット、SNS等で見聞きした場合も含まれます。

合計	902	
差別・偏見を受けた	22	2.4%
差別・偏見を見た、または受けた本人から直接聞いた	50	5.5%
差別・偏見を人づてに見聞きした（※2）	338	37.5%
差別を受けたり、見聞きしたことはない	370	41.0%
わからない	170	18.8%
答えたくない	7	0.8%

## ■ Q6 感染症に関する差別・偏見について 2

（この設問は、差し支えがない場合のみご回答ください。）

Q5で「差別・偏見を受けた」または「差別・偏見を見た、または受けた本人から直接聞いた」と回答された方にお聞きします。

それはどのようなものでしたか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	60	
差別的な言動をされた（見た、本人から直接聞いた）	46	76.7%
就職・進学等で不利な扱いをされた（見た、本人から直接聞いた）	8	13.3%
治療や入院を断られた（見た、本人から直接聞いた）	8	13.3%
その他の差別・偏見を受けた（見た、本人から直接聞いた）	20	33.3%
わからない	0	0.0%
答えたくない	1	1.7%

## ■ Q7 感染症にかかる啓発等について 1

あなたは、感染症についてより多くの人に効果的に啓発するためには、どのような情報の提供が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	902	
症状等に関する情報	769	85.3%
治療方法、治療薬に関する情報	731	81.0%
予防方法に関する情報	717	79.5%
検査に関する情報	556	61.6%
ワクチンに関する情報	519	57.5%
感染した後の後遺症に関する情報	521	57.8%
相談窓口に関する情報	497	55.1%
各種支援策に関する情報	372	41.2%
その他	22	2.4%
情報は必要ない	9	1.0%

## ■ Q8 感染症にかかる啓発等について 2

Q7でお聞きした感染症に関する情報について、あなたはこういった場所や方法、媒体での啓発が効果的だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	902	
テレビ	762	84.5%
新聞	421	46.7%
ラジオ	217	24.1%
インターネット、SNS	711	78.8%
県や市町のパンフレットやホームページなど	445	49.3%
駅や商業施設などでの街頭啓発	171	19.0%
地域（自治会など）	234	25.9%
学校	461	51.1%
職場	349	38.7%
その他	12	1.3%
わからない	13	1.4%

## ■ Q9 新型コロナウイルス感染症に関する情報について

あなたは、新型コロナウイルス感染症に関する情報をどのような方法で得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	902	
テレビ	785	87.0%

新聞	433	48.0%
ラジオ	152	16.9%
インターネット、SNS	744	82.5%
県や市町のパンフレットやホームページなど	317	35.1%
駅や商業施設などでの街頭啓発	31	3.4%
地域（自治会など）	55	6.1%
学校	47	5.2%
職場	241	26.7%
その他	17	1.9%
わからない	1	0.1%
情報を得ていない	7	0.8%

### ■ Q10 新型コロナウイルス感染症対策の実践について

あなたが新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、実践していることについて教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	902	
人と会話する際はマスクを着用	846	93.8%
高齢者等、感染すると重症化のリスクが高い方と会う際はマスクを着用	587	65.1%
こまめな手洗い	698	77.4%
手指消毒	733	81.3%
マスク会食・黙食	421	46.7%
こまめな換気	497	55.1%
その他	36	4.0%
特に対策を実践していない	10	1.1%

### ■ Q11 新型コロナウイルス感染拡大時の行動について

あなたは、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している時期（まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発出されていた間）において、行動に変化はありましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	902	
高齢者等、感染すると重症化のリスクが高い方との接触を控えていた	527	58.4%
旅行を控えていた	743	82.4%
イベントへの参加を控えていた	726	80.5%
飲食店の利用を控えていた	674	74.7%

会食をする際は少人数にしていた	379	42.0%
あんしんみえリア認証店（飲食店・観光施設等）を利用していた	34	3.8%
在宅勤務（テレワーク）していた	102	11.3%
その他	42	4.7%
特に行動に変化はなかった	48	5.3%

### ■ Q12 新型コロナウイルス感染症に対する不安について（令和2年・2020年ごろ）

あなたは、新型コロナウイルス感染症について、県内で感染者が最初に確認された令和2年1月30日から約1年の期間中に、不安に思っていたことはありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

合計	902	
感染することが怖いと思った	670	74.3%
感染したことにより、差別を受けるかもしれないと思った	420	46.6%
感染したら仕事や学校等を休まなければならないことを不安に思った	530	58.8%
感染した後の後遺症が怖いと思った	566	62.7%
体質等によりマスクを着用していないことで差別を受けるかもしれないと思った	47	5.2%
その他	51	5.7%
不安はなかった	43	4.8%
わからない	4	0.4%

### ■ Q13 新型コロナウイルス感染症に対する不安について（現在）

あなたは、新型コロナウイルス感染症について、現在不安に思っていることはありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

合計	902	
感染することが怖い	435	48.2%
感染したことにより、差別を受けるかもしれない	128	14.2%
感染したら仕事や学校等を休まなければならない	435	48.2%
感染した後の後遺症が怖い	567	62.9%
ワクチン接種の副反応が怖い	322	35.7%
体質等により対策（マスク・ワクチン）を取っていないことで差別を受けるかもしれない	28	3.1%
その他	53	5.9%

不安はない	75	8.3%
わからない	7	0.8%

### ■ Q14 新型コロナウイルス感染症に関する意識の変化について

新型コロナウイルス感染症に関する意識について、県内で感染者が最初に確認された令和2年1月30日から現在までの間に、どのような変化がありましたか。あてはまるものすべてを選んでください。

合計	902	
感染症についての情報を得て、恐怖や不安感が軽減された	405	44.9%
感染症についての情報があふれているため、何を信じたらよいか分からなくなった	237	26.3%
ワクチン接種の進展や治療薬ができたことにより、感染することが怖くなくなった	194	21.5%
ワクチン接種に不安を感じるようになった	260	28.8%
多くの人々が感染するようになったため、感染が珍しいことと思わなくなった	593	65.7%
多くの人々が感染するようになったため、感染防止対策に気を付けるようになった	344	38.1%
コロナ禍が長期間にわたっていることで、関心が薄くなった	244	27.1%
Withコロナ（新型コロナウイルスと併存する社会）に向けて関心が強まった	349	38.7%
その他	27	3.0%
変化はない	32	3.5%
わからない	5	0.6%

### ■ Q15 新型コロナウイルス感染症について得たい情報について

Q13でお聞きした新型コロナウイルス感染症に関する現在の不安を軽減させるために得たい情報はありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

合計	902	
流行中のウイルスの特性に関する情報	545	60.4%
県内の感染者数	401	44.5%
県内の重症者数	225	24.9%
県内の死亡者数	179	19.8%
治療方法、治療薬に関する情報	607	67.3%
検査に関する情報	408	45.2%
ワクチンに関する情報	453	50.2%



後遺症に関する情報	465	51.6%
相談窓口に関する情報	301	33.4%
各種支援策に関する情報	267	29.6%
その他	29	3.2%
情報は必要ない	42	4.7%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。  
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture